ICUにおける経腸栄養投与に影響を及ぼすイベントと栄養管理の実態調査

この度海老名総合病院栄養科では入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施させていただいております。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護について法令等を遵守し研究を行わせて頂きます。

試料・情報について、本研究への利用をのぞまれない場合は以下担当者にご連絡ください。

１．研究目的

重症患者さんに対する早期経腸栄養は、腸管機能の維持や感染性合併症の予防などの観点から重要です。一方、実際の現場では、患者さんの病態変化、検査、処置、治療など、様々なイベントにより経腸栄養の開始や増量が延期されたり、投与が中断・減量されたりすることがあります。

これらのイベントには、循環動態の悪化や消化管不耐など、病態上やむを得ないものもありますが検査や処置に伴う過度に長い中断など、栄養管理プロセスの見直しにより改善できる可能性のある事象も存在します。

本研究では、経腸栄養投与に影響を及ぼしたイベントの種類、発生頻度およびイベント発生時の栄養管理の実態を明らかにし、当院ICUにおける経腸栄養管理上の改善可能な課題を抽出し、栄養管理の質改善につなげることを目的として、後方視的に調査を行います。

２．研究方法

1) 研究対象：対象は2025年4月から2025年6月までにICUに入室し、経腸栄養が開始された18歳以上の成人患者
2) 実施期間：承認日～2026年10月20日
3) 研究方法：電子カルテ内の診療録から情報取得します。
4) 研究成果の公表：本研究の成果は、匿名化したデータを用いて、学会発表や学術論文として学術的に公表される場合があります。公表に際しては、適切に個人情報を保護いたします。

３．試料・情報

電子カルテ内の診療録から後方視的に情報取得します。

調査項目：

・年齢・性別・身長・体重・BMI・診療科・主病名・SOFA score・ICU入室日時
・ICU退室日時・人工呼吸器管理の有無および管理期間
・腎代替療法の有無・補助循環装置の使用の有無・ICU転帰・院内転帰
・経腸栄養開始日時・ICU入室から経腸栄養開始までの時間
・目標エネルギー量・経腸栄養オーダー内容

４．外部への試料・情報の提供

個人が特定できる情報(氏名、住所、生年月日など)は除外した形でデータ集積を行います。
データの紛失・改ざん・漏洩などを防ぐためデータベースへのアクセスはID・パスワード等、適切に管理しています。
収集した匿名化データは海外含む学術研究施設に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用致しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表を行います。

５．本研究責任者およびお問合せ先

本研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せください。お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済の研究結果からの削除は出来ない場合がありますのでご承知くださいますよう何卒宜しくお願い致します。

施設名　　：海老名総合病院
住所　　：神奈川県海老名市中央4丁目16-1
電話　　：046-233-1311 (内線：1514)
研究責任者：医療技術部　栄養科　木村 夏実